

# Kenji Usui Ballet Collection

## Ballet drawings

～ Laura Knight ～

2013/3/1 (Fri.)～2013/3/31 (Sun.)

企画展示 出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆「ロシア・バレエのドローイング」ローラ・ナイト画  
(限定書籍 [AB-015] / 1920年 / ロンドン)  
Antique book of "TWENTY-ONE DRAWINGS OF THE RUSSIAN BALLET"  
(No. 58/350), drawn by Laura Knight/1920/Davis & Orioli, London/  
41.7×33.5cm/23sheets+folio (AB-015)  
"Les Sylphides" 1 sheet, "L'oiseau de Feu" 1 sheet, "Three Corned Hat"  
15 sheets, Lydia Lopokowa in "Bacchanale" 4 sheets

◆「アルミードの館」ローラ・ナイト画「COLOUR」誌より  
(切り抜き [CL-034] / 1917年3月)  
Clipping of design "Pavillon d' Armide" by Laura Knight from COLOUR/  
1917.3/20.0×24.7cm (CL-034)

◆「とんぼを踊るアンナ・パヴロワ」  
(写真 [PH-0862(ws)] / 1910年代)  
Photograph of Anna Pavlova in "Dragonfly"/1910's/  
25.8×20.3cm (PH-0862)

◆「ピカソ・シアター」ダグラス・クーパー著  
(書籍 [BK-0502] / 1968年 / ニューヨーク)  
Book "Picasso Theatre" by Douglas Cooper/1968/Harry N. Abrams,  
INC, New York (BK-0502)

◆「三角帽子」シリル・W・ボームト著  
(書籍 [BK-0217] / 1919年 / ロンドン)  
Book "The Three-Cornered Hat" by Cyril W. Beaumont/1919/  
C.W. Beaumont, London (BK-0217)

◆「リディア・ロポコワ」  
(絵葉書 [PC-590] / ロシア)  
Postcard of Lydia Lopokova/Russia/13.9×8.8cm (PC-590)



# Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二 バレエ・コレクション  
2013企画展

## 描かれたバレエ

～ ローラ・ナイトの視線から ～

2013/3/1 (Fri.)～2013/3/31 (Sun.)

近年、その再評価が進む女性画家ローラ・ナイト。彼女が描いたスケッチを収めた画集などを通して、バレエ・リュスの魅力の一端をご紹介します。

ローラ・ナイトは、彼女の生まれ育った英国でもこれまで重要視されてきたとは言えず、まだ不明な点もある画家ですが、劇場を愛し、バレエのみならずミュージック・ホールなどにも足繁く通い、インプレサリオ(=大物プロデューサー)とも親しく交流したため、客席とバックステージの両方から舞台を描くことができました。その作品の数々を、彼女の処女出版である画集「ロシア・バレエのドローイング」を中心にご覧いただきたいです。

## 次回予告

### 『亡命したダンサー』 ～ ルドルフ・ヌレエフ ～

An exiled dancer ~Rudolf Nureyev~

今年、没後20年を迎える天才バレエ・ダンサー ルドルフ・ヌレエフ。その稀有な個性と存在感は、今なおバレエ・ファンに強い印象を放ち、鮮やかな記憶として残っています。そのヌレエフについて、直筆署名写真などの貴重な資料を通してご紹介します。

2013/4/23(Tue)～2013/5/19(Sun)

◎ 企画・監修

芳賀直子(はが なおこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター  
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

水野慎子(みずの のりこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーターアシスタント  
Noriko Mizuno (Assistant Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二 バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

Hyogo Performing Arts Center

ローラは13歳と早い時期から専門的な絵画の教育を受け始めましたが、世間に認められるまで少し時間を要した遅咲きの画家でした。1903年に、同じく画家であるハロルド・ナイトと結婚してからは様々なアカデミーに選出されるなど、順調に社会的に地位を認められるようになりました。1927年には、1895年に一度は入会を認められなかったロイヤル・アカデミーにも選出されるなど、着実にその足場を固めていきました。

バレエを対象として描き始めるのは、バレエ・リュスのロンドン公演以降と思われますが、それよりも以前から、パントマイムなど、舞台に深い関心を寄せていたことが分かっています。

1911年に開催された、バレエ・リュス最初のロンドン公演も鑑賞していましたが、ディアギレフの許可を得てバックステージから彼らを描くことができるようになったのは、第一次世界大戦後のことでした。1918年の戦後初のロンドン公演から、ローラはバレエ・リュスのバックヤードや楽屋、リハーサルに加え、名バレエ教師エンリコ・チェケッティによるバレエ・レッスンの場にも立ち合い、その瞬間をスケッチし続け、バレエ・リュスが解散する1929年までそれは続きました。後に、その時のスケッチを元に描かれた油彩があることも分かっています。



また、あまり知られていませんが、バレエ衣裳のデザインを手掛けた事も分かっています。バレエ・リュスのダンサーだったスタニスラス・イジコフスキーを中心に、コロセウム劇場にて2週間上演されたグループ公演『薔薇』（音楽：アンリ・ソーゲ、振付：イジコフスキー）という作品がそれです。現在明らかになっているのはこの作品についてのみですが、バレエを愛したローラ・ナイトのことですから、もしかしたら、今後同様のことが判明する資料が見つかるかもしれません。

今回の展示には含まれていませんが、バレエ・リュスの解散後は、バレエ・リュス・ド・モンテカルロ、中でも、かつてバレエ・リュスのダンサーだったアリシア・マルコワやイリーナ・パロノワを好んで描いた作品が残っています。またバレエだけではなく、お芝居やパントマイム、レビューなど、広く劇場芸術を愛じ、描いた画家でもありました。

彼女の残したスケッチの数々は、絵画としての価値だけではなく、バレエ・リュスのロンドンでの活動、そしてその舞台裏を見ることのできる貴重な資料という点に於いても、とても大切なものなのです。



## Laura knight

<ローラ・ナイト略歴>

- 1877年8月4日 ローラ・ジョンソン(後のローラ・ナイト)誕生
- 1891年6月 ノッティンガムのスクール・オブ・アートに13歳で入学
- 1892年 母 シャルロット・ナイト死去
- 1894年 サウス・ケンジントン・アート・スクールのナショナル・コンペティションで金賞受賞
- 1895年 "Children dressing dolls" がロイヤル・アカデミーの選から漏れる
- 1896年 "Oil painting of a draped figure from the life" が Queen's 賞を受賞
- 1898年 英国・ステイシスに移住。
- 1900年 英国のステイシスとノッティングヒルにて、油彩・水彩の展覧会を開催
- 1901年 ロンドンのソサエティ・オブ・オイルペインターズにて、展示会を開催
- 1903年 "Mother and child" がロイヤル・アカデミーに選出、展示される  
ハロルド・ナイト(1874-1961)と結婚
- 1905年 ハロルドとオランダを訪れる
- 1906年 レセスター・ギャラリーにて、ハロルドと共に"オランダの生活と風景展"を開催
- 1908年 ウーマンズ・インターナショナル・アート・クラブにて展覧会を開催  
6月にロイヤル・プリティッシュ・コロニアル・ソサエティ・オブ・アーティストに選出される
- 1909年 アンソエイト・オブ・ザ・ロイヤル・ウォーターカラー・ソサエティに選出される
- 1912年、1914年 ハロルドと共に展覧会を開催
- 1914年 ビツバークにて、2月3-28日にカーネギー財団による展覧会をハロルドと開催
- 1915年 サン・フランシスコにて開催されたパナマー・パシフィック国際展覧会で金メダル受賞
- 1920年6-7月 レセスター・ギャラリーにて、ロシア・バレエの絵画展覧会を開催
- 1922年4-5月 アルビン・クラブ・ギャラリーにて、絵画とドローイングの展覧会を開催
- 1924年 ロイヤル・ソサエティ・オブ・ペインター・エッチズに選出される
- 1927年11月1日 ロイヤル・アカデミー会員に選出される
- 1929年 英国王室より Dame の称号を授与される
- 1931年 カナダ・トロントにて、展覧会を開催
- 1936年2月11日 ロイヤル・アカデミアンに選出される
- 1940-1946年 戦争画家として活躍
- 1955年 ロンドンにて、水彩画展を開催
- 1961年 夫ハロルド死去
- 1965年 The magic of a line が出版される
- 1969年 グラスゴーにて、75年に渡る活動の軌跡を集めた画業展を開催
- 1970年7月7日 ロンドンにて死去。享年92歳